

令和6年度第2回北信医療圏 地域医療構想調整会議	資料 1
令和7年2月14日	

# 地域医療構想の推進について

# 今後の進め方について

## 議論の進め方

- 医療機関間の更なる役割分担と連携を進めるため、医療提供体制の「グランドデザイン」を念頭に置き、圏域における議論を実施。
- 地域の医療関係者が医療の取り巻く現状を適切に把握し、議論の活性化がなされるよう、県よりデータ分析結果を提示。
  - ☞ 県、委託事業者(株式会社日本経営)、産業医科大学の三者によるデータ分析体制を新たに構築。
  - ☞ レセプトデータ等を活用し、現状の医療提供体制及び将来の医療需要等の詳細分析(=地区診断)を実施。
  - ☞ 12月以降を目途に分析結果を各圏域に提供し、地域の実情を踏まえた議論を推進。
- 圏域における議論を踏まえ、必要に応じ、策定した各医療機関の対応方針の見直しを行うとともに、圏域内で共有。 ※令和6年7月に、昨年度策定いただいた対応方針の更新方法について依頼。
  - ☞ 対応方針の見直し内容に応じ、調整会議の場での説明を依頼。

## <イメージ>

### 【圏域における議論】

- 関係者間において、圏域における状況を共有し、課題等を議論
- 県から議論に資するデータを提示し、議論の活性化



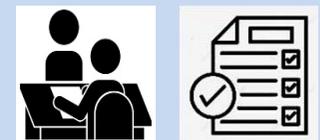
圏域における状況を共有

医療ニーズの変化に応じ、  
各医療機関の方針を考えていく(サイクルを回す)

各医療機関の方針を共有

### 【各医療機関の方針】

- 圏域における状況を踏まえ、必要に応じて対応方針の見直しを行う
- 機能の見直しや強化に関しては、県からの補助金等で支援



# 令和6年度 病院機能再編・連携強化支援事業（県のデータ分析体制の強化、医療提供状況等分析）の概要

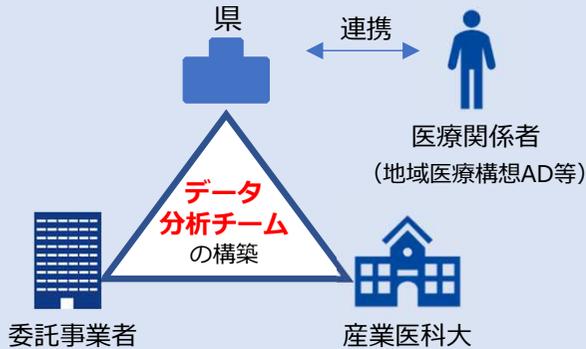
## 1. 目的

医療提供体制の「グランドデザイン」に基づき、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進するとともに、地域の医療関係者等が県内の医療を取り巻く現状を適切に把握することができるよう、県のデータ分析体制の強化を図り、県内の医療提供状況等の分析を行う。

## 2. 事業内容

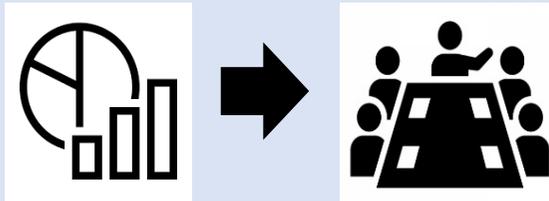
### 1 データ分析体制の構築

- 県、委託事業者（株式会社日本経営）、産業医科大学の三者によるデータ分析チームを新たに構築し、地域医療構想アドバイザー等の医療関係者と連携することで、効果的かつ持続的にデータ分析が行える体制を整備。



### 2 県内の医療提供状況等の分析

- データ分析チームにより、レセプトデータ等を活用して、県内の10医療圏ごとに、現状の医療提供体制及び将来の医療需要等の詳細分析（＝地区診断）を実施。
- 分析結果を圏域別調整会議に提供し、地域の実情を踏まえた議論を推進。



10医療圏毎に行った地区診断の結果を調整会議に提供し、議論を活性化

### 3 研修会の開催

- 地域の医療ニーズを踏まえた機能再編や連携強化への取組の増加に資するよう、県内病院等を対象にした研修会（オンライン形式）を開催。



【研修会で紹介する内容】

- 県内の医療提供体制の状況
- 国及び県の医療政策の動向
- 医療機関が活用できる支援策
- 他の都道府県で行われた機能再編等の優良事例 等

## 3. スケジュール（案）

	R 6. 7月～9月	R 6. 10月～12月	R 7. 1月～3月
1	データ分析チームの構築		
2		県内の医療提供状況等の分析	圏域調整会議に分析結果を提供
3			研修会（12月）

# 医療提供体制の「グランドデザイン」の概要

- 医療ニーズが変化し、医療サービスの担い手の減少が加速化していく2040年を含む中長期を見据え、限られた医療資源を最大限有効に活用する観点から、入院・在宅・外来医療体制について、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進。

## 【入院医療体制】

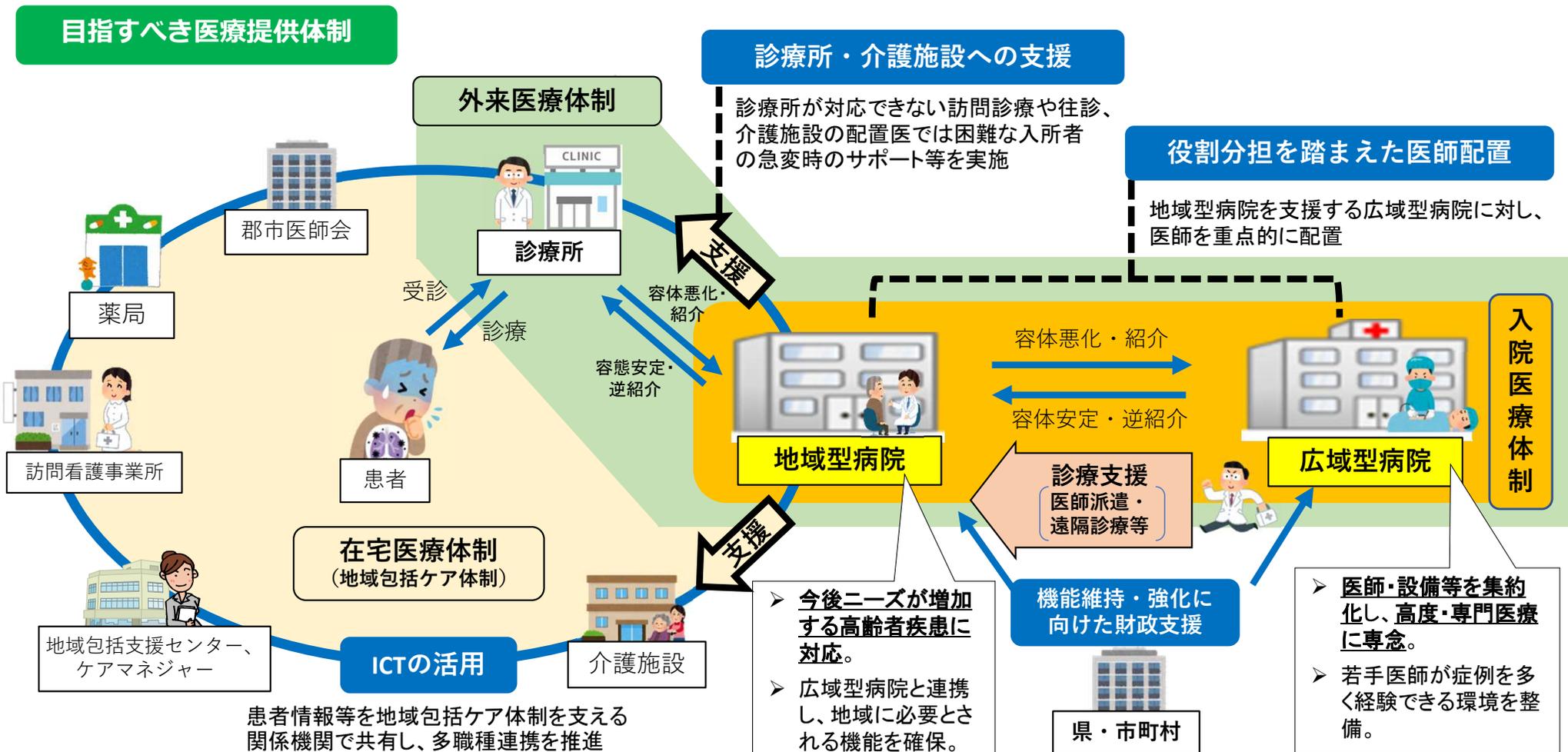
「地域型病院」と「広域型病院」による役割分担と連携を推進。

## 【在宅医療体制】

「地域型病院」を中心とした連携体制を強化するとともに、ICTを活用した患者情報等を共有する取組を積極的に推進。

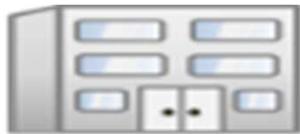
## 【外来医療体制】

「かかりつけ医機能を担う医療機関（診療所、地域型病院）」を明確化するとともに、それらと「紹介患者を中心に診る医療機関（広域型病院）」による役割分担と連携を推進。



＜地域型病院・広域型病院が持つ機能として想定するもの＞

地域型病院



➤ 地域包括ケア体制の要となる機能(地域密着型)

【想定する診療機能】

- ・総合診療を提供する機能
- ・他の急性期病院で治療を受け、引き続き入院医療が必要な患者の受入機能
- ・在宅医療を提供する機能(訪問診療、往診、看取り等)
- ・在宅医療を担う診療所や介護施設等を支援する機能(診療所等の医師不在時における支援、レスパイト入院等)
- ・在宅や介護施設等で急変した患者の受入機能
- ・リハビリテーションを提供する機能
- ・長期療養が必要な患者の受入機能

➤ 平日の二次救急患者や休日・夜間の救急患者を受け入れる機能(地域救急型)

【想定する病院】

救急告示病院、病院群輪番制参加病院

➤ 一部の診療領域に特化した機能(地域専門型)

【想定する診療領域】

脳神経外科、精神科、産婦人科 等

広域型病院



➤ 高度・専門的な医療を提供する機能

【想定する診療機能】

がん：都道府県がん診療拠点病院、がん診療連携拠点病院 等

脳卒中：脳血栓溶解療法(rt-PA)、脳外科手術、脳血管内手術が可能 等

心血管疾患：大動脈解離、心臓カテーテル治療が可能 等

精神疾患：依存症治療拠点機能、児童思春期精神科医療、災害時精神医療分野等における県の拠点機能 等

救急医療：救命救急センター 等

災害医療：災害拠点病院

周産期医療：総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター

小児医療：小児中核病院、小児地域医療センター

感染症：第一種、第二種感染症指定医療機関 等

医師派遣：医師が多数在籍し、医師派遣等により中小病院・診療所を支援する機能

# 本県における今後の地域医療構想の進め方 スケジュール(案)

	令和6年度			令和7年度			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
圏域別調整会議	第1回		第2回	〔必要に応じて開催〕	第1回	〔必要に応じて開催〕	第2回
	1. 次期地域医療構想を見据えた議論【令和8年度からの策定開始を見据えた議論】 2. 圏域ごとの2025年以降も見据えた医療提供体制の課題や状況について議論【継続的に議論】						
医療情勢等連絡会	必要に応じて随時開催						
県単位での関係会議等			2040年を見据えた構想区域の在り方等について懇談会設置を検討	2040年を見据えた構想区域の在り方等について懇談会を開催			

## ■ 圏域別調整会議の議題(案) ※地域医療構想に関する議題のみ

### 【令和6年度第1回】

- 構想区域全体の2025年以降も見据えた医療提供体制の議論(検証)について
- 区域対応方針の策定について(推進区域の場合)等

### 【令和6年度第2回】

- 構想区域全体の2025年以降も見据えた医療提供体制の(議論)検証について  
⇒地域に見える化として、データ分析事業による地区診断結果を提示
- 区域対応方針の策定について(推進区域の場合)等

### 【令和7年度第1回】

- 2040年を見据えた次期地域医療構想について(国の検討状況を見据えつつ内容を設定)  
⇒R7年度末に、策定ガイドラインが示される見込み。
- 圏域ごとの医療提供体制における課題や状況について等

## 【参考（R 6時点）】

各医療機関の今後の方針（対応方針）について

※圏域における議論等を踏まえ、必要に応じ、随時見直しを行っていく。

# 対応方針 — 今後の圏域における役割の意向 — （北信医療圏）

○ 各医療機関の今後の役割の意向は以下のとおり。

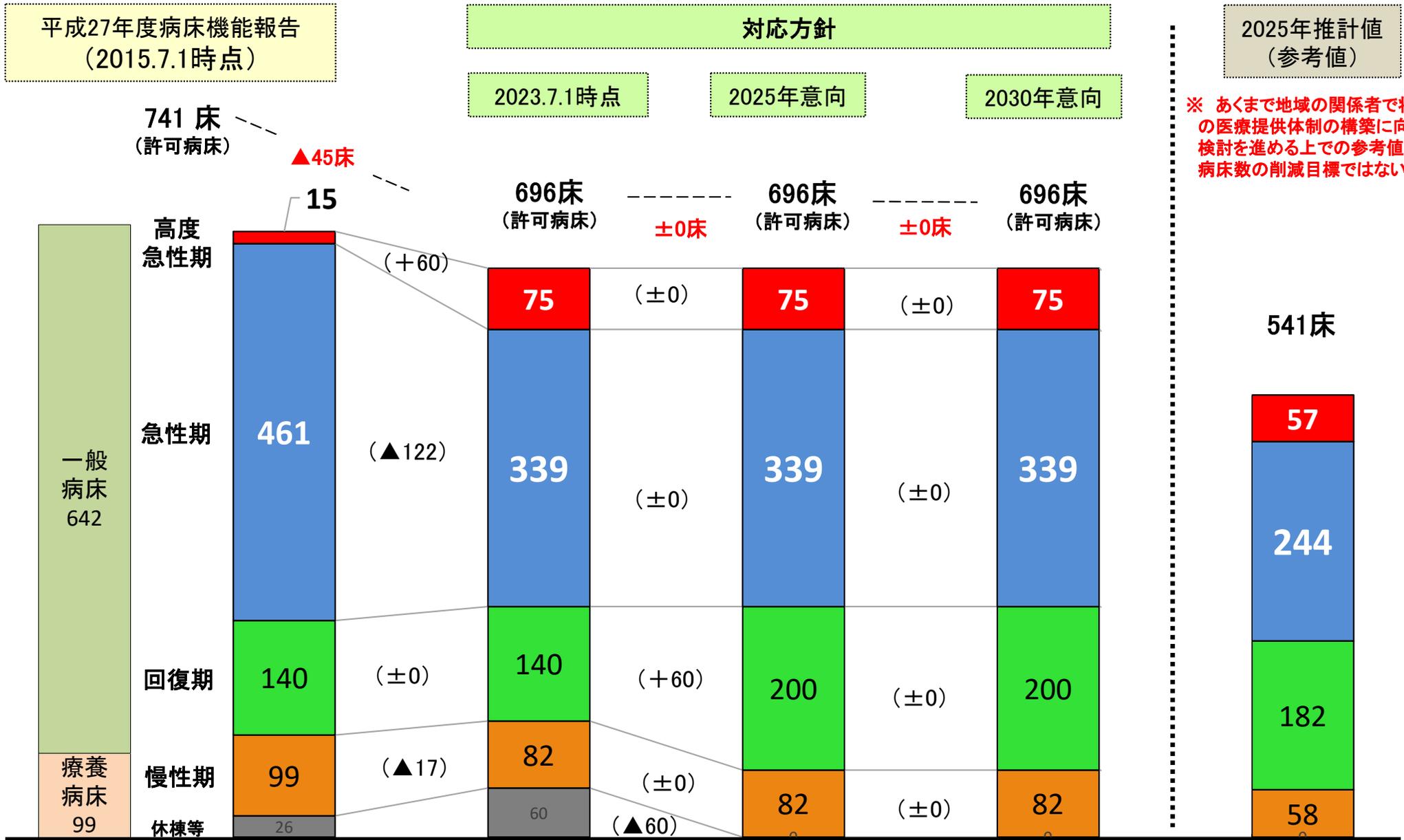
【凡例：今後の圏域における役割の意向】

- ①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
- ②：救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関
- ③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
- ④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
- ⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
- ⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）
- ⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・専門	② 軽症急性期	③ 地ケア	④ 回リハ	⑤ 長期療養	⑥ 特定診療	⑦ かかりつけ	
厚生連北信総合病院	病院	◎	○	○		○	○		北信医療圏を守り、地域完結型の医療提供を目指す。このために、診療体制の堅持と更なる拡充を図る。 ・行政・自治体・消防・医師会・周辺医療機関との連携強化。 ・医師確保による診療体制の維持・強化。 ・高度医療提供のための設備の更新(リニアック・血管造影装置)。 ・新型コロナ対応を継続しつつ一般診療の拡充を図り、救急医療体制を整備する。
飯山赤十字病院	病院		◎	○	○	○			1) 病院BSCと勤務評定により、経営改善と診療の質の向上をはかる。職員満足度調査と患者満足度調査なども利用し、働きがいがある職場と患者から選ばれる病院を目指す。 2) 外来機能の充実。紹介受診重点医療機関取得のため、紹介率50%、逆紹介率40%を令和6年度に達成する。外来患者の待ち時間短縮と勤務医の外来診療負担の軽減をはかり、入院治療に重点をおく。 3) 二次救急医療を維持し救急患者応需率95%以上、救急車1300台以上/年に85%以上応需し、丁寧な入院治療をおこない入院率増加をめざす。消化器外科手術・がん治療の継続、整形外科手術・リハビリの継続と北信総合病院との機能的連携を強化する。眼科は白内障から硝子体手術の継続。脳外科は一次脳卒中センターとしてt-PA治療を継続し、脳卒中治療の向上につとめる。消化器内科は、質の高い内視鏡診断と治療(ESDなど)や超音波内視鏡による膵臓癌診断の取り組みの継続、呼吸器内科は肺がん治療、新型コロナ治療を継続、循環器内科は北信総合病院と治療連携を継続する。また透析センターは岳北地域の透析治療を継続する。 4) 診療単価の向上をはかる。救急からの新入院患者増加やDPC係数を増点する診療方針をさらに進める。新たな指導料・施設基準獲得による治療の質向上と経営改善に努める。回復期リハビリ病床機能の再編と適正化をおこなう。 5) 感染対策室・医療安全推進室活動をさらに強化する。 6) 非常勤医師、診療科の適性化をすすめる。 7) 周辺医療機関との前方・後方連携を強化して、直接入院者による包括ケア病棟利用率をさらに高める。 8) 病院機能評価による診療の質向上を継続し、5年ごと更新する。 9) 信州大学・富山大学からの医師派遣継続に努め、長野赤十字病院との連携、飯山市医師奨学生への面談指導などにより医師の増員を図る。 10) 医学生、看護学生、薬学生、医療分野学生の臨床教育を継続する。 11) 岳北地域での自宅看取り対応について、医師会、行政とともにACPの啓蒙活動を行う。 12) 二次救急と地域包括ケアシステムの中核病院機能維持のため、約10年ごとの大型医療機器更新が必要である。飯山赤十字病院運営協議会開催・首長面談などで飯山赤十字病院の現況と運営方針を説明し、地域医療維持のため自治体からの理解と支援を求める。
佐藤病院	病院				○		◎		内科、心療内科、精神科、リハビリテーション科を中心に回復期の医療を提供していく。
医療法人保倉産婦人科医院	診療所						◎		現状維持

# 対応方針 — 機能別病床数の意向 — （北信医療圏）

- 2025年の意向を集計した結果、2023年7月1日時点と比較すると、休棟が回復期として再稼働する見込み。
- 2030年の意向を集計した結果、2025年の意向から病床機能の変更は無い見込みとなっている。



# 対応方針 — 機能別病床数の意向 — (北信医療圏:医療機関別)

- 2025年までに、飯山赤十字病院は休棟60床を回復期機能で再稼働させる見込み。
- 2025年から2030年までの間には、病床機能の変更はない見込み。

【凡例】 A:2023年7月1日時点の機能別病床数 B:2025年における機能別病床数の意向 C:2030年における機能別病床数の意向

病院名	高度急性期			B-A		C-B		急性期			B-A		C-B		回復期			B-A		C-B		慢性期			B-A		C-B		休棟			B-A		C-B		介護施設等への転換			B-A		C-B		病床数計			B-A		C-B		
	A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C							
厚生連北信総合病院	75	75	75	0	0	262	262	262	0	0	0	0	0	0	0	38	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	375	375	375	0	0
飯山赤十字病院	0	0	0	0	0	60	60	60	0	0	120	180	180	60	0	44	44	44	0	0	60	0	0	-60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	284	284	284	0	0
佐藤病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	20	0	0
病院計	75	75	75	0	0	322	322	322	0	0	140	200	200	60	0	82	82	82	0	0	60	0	0	-60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	679	679	679	0	0					

有床診療所名	高度急性期			B-A		C-B		急性期			B-A		C-B		回復期			B-A		C-B		慢性期			B-A		C-B		休棟			B-A		C-B		介護施設等への転換			B-A		C-B		病床数計			B-A		C-B							
	A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C			A	B	C												
保倉産婦人科医院	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0
有床診療所計	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0					

総計	75	75	75	0	0	339	339	339	0	0	140	200	200	60	0	82	82	82	0	0	60	0	0	-60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	696	696	696	0	0
----	----	----	----	---	---	-----	-----	-----	---	---	-----	-----	-----	----	---	----	----	----	---	---	----	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	-----	-----	---	---